



縣下の麥作實收は

百五十七萬二千餘石

昨年より四分二厘の増収を見る

本縣に於ける昭和十二年麥作付段別は大麥三萬三千三百三十町七反歩、稷麥二千七百七十三町一反歩、小麥五萬三千六百五町二反歩、燕麥二町九反歩、計八萬九千五百十四町九反歩で之を年々の作付段別に比較すると大麥は五百二十一町歩減(一分五厘)稷麥四十一町四反歩増(一分五厘)小麥三千二百二十町三反歩増(六分二厘)燕麥五町七反歩減(六割六分二厘)計二千六百三十五町歩増(三分)で麥作景況は冬季には比較的高溫多雨だったので稍軟弱に伸長した様な感があつたが春季になつて氣候平常に復した爲寒風と冷氣とに依つて一時發育を

害し且つ一部地方に病害の發生があつたが前年の様な雪害等がなく其の後順調な天候に依り相當恢復したので麥の實收高は大麥八十萬六千六百六十四石(四分増)稷麥四萬一千七百六十七石(五分二厘増)小麥七十二萬四千九百九十一石(四分三厘増)燕麥二十八石(八割四分九厘減)計百五十七萬二千六百五十七石で前年の收穫高に比し六萬三千二百四十一石(四分二厘)の増収を見た。燕麥を除いた大麥、稷麥、小麥の郡市別作付反別、收穫高は左の如くである。(表中△印は減を示す)

郡市	大麥			稷麥			小麥		
	作付反別	收穫高	前年對比	作付反別	收穫高	前年對比	作付反別	收穫高	前年對比
水戸	二六〇・〇	二八八石	△	二〇〇	七、四九九	△	六六	八八二	△
東茨城	三、八二・三	六七〇八二	△	一、三三三	二、六八	△	六、四〇一	七、三三九	△
西茨城	一、三三・五	二四、四七五	△	一、四九七	一、三六	△	二、二九二	二、三三三	△

郡市	作付反別	收穫高	前年對比	作付反別	收穫高	前年對比	作付反別	收穫高	前年對比
那珂	二、八九・八	六、八二二	△	六、五五四	一〇、七六七	△	七、六四二八	一、八〇六	△
久慈	二、六七・〇	六、四六一	△	四、九二二	一、八五五	△	三、〇六五	四、四四	△
多賀	七、〇〇・〇	一八、四六三	△	三、五三三	五、三三三	△	一、四六三	一、九三三	△
鹿島	二、九三・三	三、九三三	△	四、六二五	六、三九六	△	三、二八八	四、三三三	△
行方	八、〇〇・八	一三、八四四	△	二、九二九	四、一〇〇	△	一、八三三	二、四四七	△
新治	一、四四・八	三、三三三	△	六、六二	一、七九	△	三、一九九	三、四四	△
筑波	一、七八・三	三、八四九	△	八、六二	一、二二	△	三、三三三	三、九三	△
眞壁	一、八四・九	三、三三三	△	二、七	三、三三	△	三、三三三	三、三三	△
結城	三、八二・一	九、二二二	△	二、七	六、六	△	三、三三三	三、三三	△
猿島	三、八五・五	三、三三三	△	二、七	三、三三	△	三、三三三	三、三三	△
北相馬	五、〇八・一	一三、八四四	△	一〇、三	三、三三	△	三、三三三	三、三三	△
合計	九、一〇・〇	三、三三三	△	七、	二、七	△	三、三三三	三、三三	△

鶏の飼養は

百六十萬餘羽

産卵は一億三千萬餘

昭和十二年六月末日現在に於ける縣下の鶏飼養戸数は總數十二萬三千七百八十七戸で前年に比し千五百三戸の減少を示した、之を飼養羽數別に觀れば十羽未満八萬三千六百二十三戸、十羽以上五

十羽未満三萬七千八百九十五戸、五十羽以上二千二百六十九戸である。鶏羽數は總羽數百六十萬七千七百六十五羽で前年に比し千四百五十二羽を減じ其の價額、九十二萬二千九百二十八圓、前年に比し九萬四千五百八十六圓を増加した、總羽數を成鶏、雛に區別すれば成鶏九十八萬七千七百三十三羽、雛六十一萬四千六百九十二羽で更に成鶏を雌雄別に觀れば雌八十六萬六千四百九十二羽、雄十二萬五千八百一十一羽である。産卵數は自昭和十一年七月一日至昭和十二年六月末日の一箇年に於て總數一億三千三百八十六萬八千二百一十一箇で其の價額は三百二十三萬六千五百九十九圓である。